

みんなで学ぼう
鳥獣被害対策

vol.1

えづけSTOP!

地域ぐるみの「環境づくり」

鳥獣被害って何？

イノシシやシカなどによる農作物の被害が広がりを見せ、大きな社会問題となっています。熊本県内の農作物被害額は年間約5億円にものぼり、高い水準となっています。

地域内で被害が増加する要因として、

- ・イノシシなどの人に対する警戒心の低下(えづけが進んでいること)
- ・使っていない田畑の増加による農地付近への出没
- ・捕獲者(狩猟免許を持っている人)の活動を上回る生息数の増加や生息区域の拡大

などがあり、簡単に解決できる問題ではありません。イノシシなどによる被害は、金銭的な被害以上に農家さんのやる気を低下させ、耕作放棄地がさらに増加するなど、深刻な影響を与えます。ヒトに被害を及ぼすこともあるため、対策を欠かすことができません。

●被害をもたらす動物たち

- ・シカ
- ・イノシシ
- ・タヌキ
- ・サル
- ・ヒドリカモ
- ・カラス
- ・ヒヨドリ



日ごろの心がけと正しい知識によって少しでも被害を防ぐために、誰でも今日からできる鳥獣被害対策を身に付けていきましょう。

どうして鳥獣被害が増えているの？

鳥獣被害が増えた場合、必ず地域内に原因があります。まずは鳥獣被害発生の原因について勉強してみましょう。

えづけていませんか？

被害が起きるのは地域に「エサとひそみ場がある」からです。しかも、被害が広がっているのは無意識に「エサを与えている」「ひそみ場を提供している」からなのです。



※2番穂とは稲刈りが済んだ株から出ている稲のこと

<鳥獣被害対策に関するお問合せ>

お住まいの市町鳥獣被害対策の担当課
もしくは県北広域本部農業普及・振興課 TEL:0968-25-4205

<記事掲載部署>

営農部営農企画課 TEL:0968-23-3205

出典元: みんなで学ぼう鳥獣被害対策 熊本県農林水産部農村振興局むらづくり課

※次回は、「イノシシの人慣れ」「イノシシたちの気持ち」について学びます！